

# やはば

議会だより

220  
2022.4.21  
岩手県  
矢巾町議会



矢巾中学校卒業式



令和4年度 予算可決  
子育てと観光事業を充実 ..... 2  
予算決算常任委員会  
予算審議議論白熱 ..... 6  
町政を問う  
代表質問3会派・一般質問9議員 ..... 15

矢巾北中学校卒業式



# 事業を充実

金額は10万円未満切り捨て

## 観光

### ◆南昌山展望台の 改修工事等 1220万円

南昌山山頂の展望台をリニューアルし展望台付近の景観をよくします。



## 文化

### ◆徳丹城史跡公園の整備 佐々木家曲家の屋根補修 6450万円

徳丹城史跡公園に水洗トイレを新設、曲家の茅葺屋根を葺き替えし、史跡公園として魅力を発信します。

## まちづくり

### ◆矢幅駅多目的ホール 整備・利活用 1000万円

駅東口の多目的ホールを観光案内やカフェなど交流の場として整備をします。



# 令和4年度予算 可決

# 子育てと観光

## 主な事業をピックアップ



### 子育て

◆赤ちゃん子育て  
 応援給付事業  
 妊産婦健診等送迎事業  
**2100万円**

新生児を対象に10万円を給付し、コロナ禍の子育て世帯を支援します。妊産婦健診等にタクシー券1万円を助成します。

### 農業

◆有害鳥獣防止対策事業  
**850万円**

イノシシ等有害鳥獣による農作物被害を防止するため、電気柵設置や狩猟免許の取得などに助成します。



### 教育

◆学校給食調理等  
 業務委託  
**6760万円**

調理業務を民間に委託し、専門的な知識や技能で効率化を図ります。栄養教諭の業務を軽減し、食育や給食指導の充実を図ります。



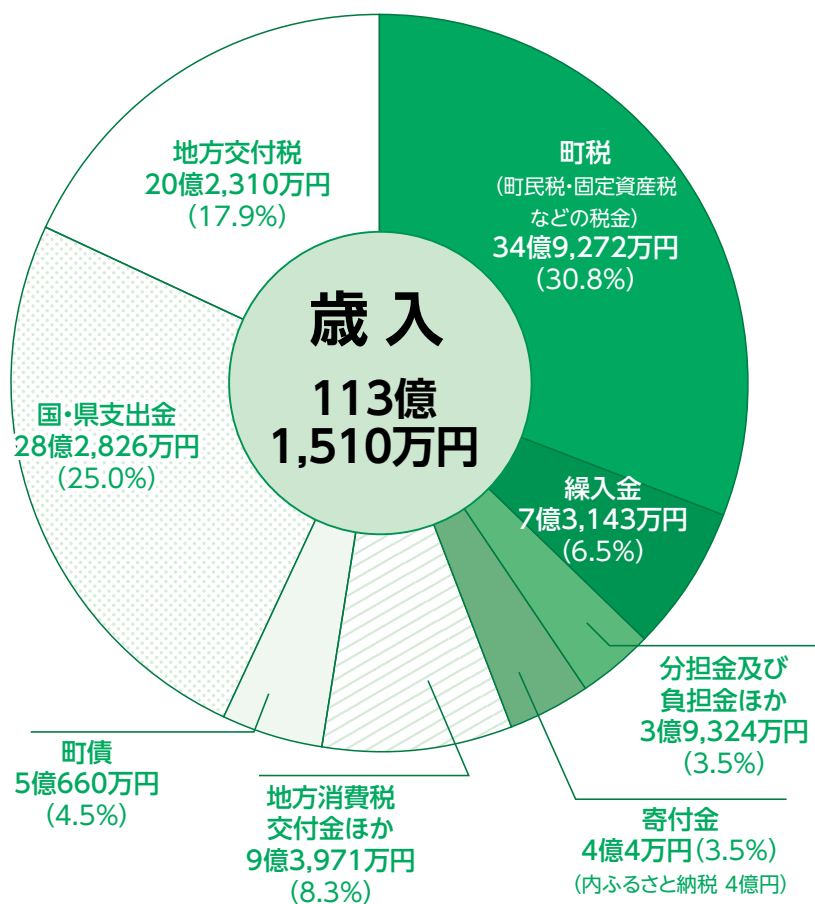
# 関係予算継続

令和4年度の当初予算を可決しました。一般会計の予算は、前年度より6億2310万円増額し、総額113億1510万円となりました。

## 一般会計 入ってくるお金

■ 自主財源  
44.3%

□ 依存財源  
55.7%



### 用語説明

**自主財源**  
町が皆さんから集めたお金

**依存財源**  
国や県からもらえるお金

**繰入金**  
町の貯金を取り崩して使うお金

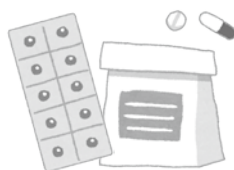
**分担金・負担金**  
保育料など、特定のサービスを受ける方からもらうお金

**町債**  
町が借り入れたお金

**国・県支出金**  
国や県からの補助金

**地方交付税**  
国が市町村の人口や面積などの割合を基に交付するお金

#### 国民健康保険事業 23億1,576万円



国保加入者の医療費や  
特定健診、保健指導など

#### 介護保険事業 23億9,038万円



介護サービスの給付、  
介護予防事業など

#### 後期高齢者医療 2億5,456万円

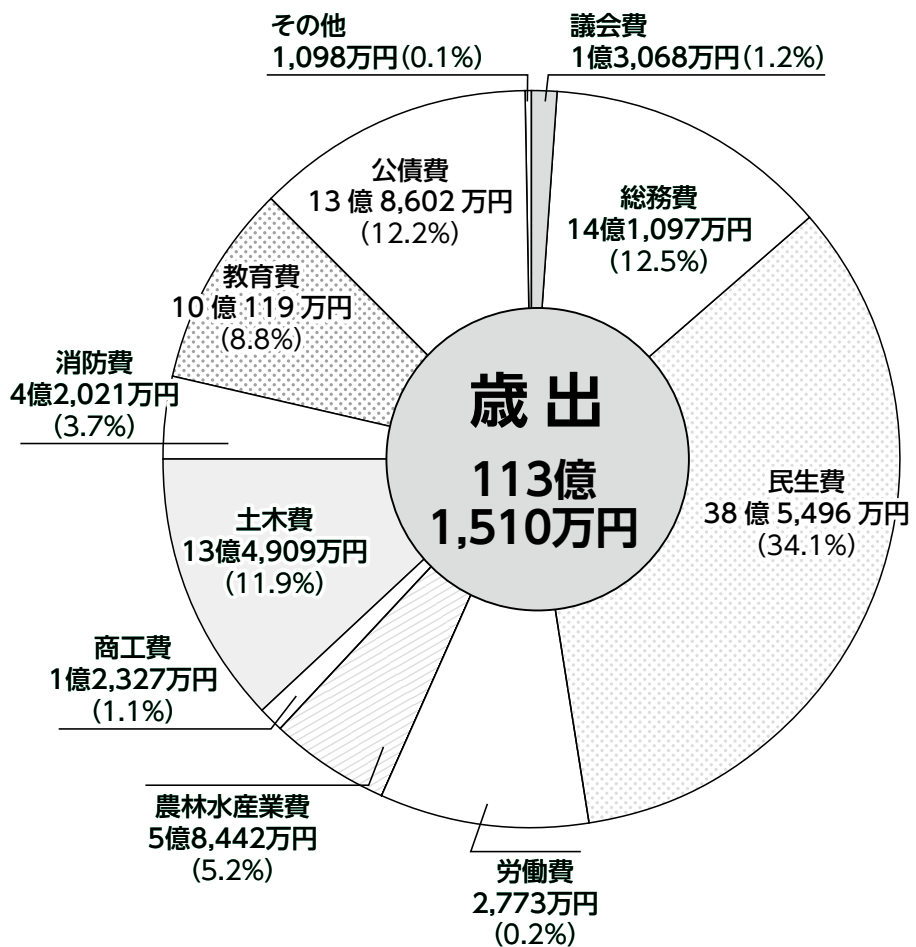


主に75歳以上の方に保険証  
交付や高額療養費の受付など

# コロナ対策

## 一般会計

### 使うお金



#### 用語説明

- 総務費**  
庁舎、財産等の維持管理等のための経費
- 民生費**  
児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費
- 衛生費**  
ゴミ処理、予防接種（コロナワクチン含む）などの経費
- 労働費**  
就労者を支援する貸付け等の経費
- 商工費**  
中小企業への利子補給融資（コロナ対策費含む）や観光振興の経費
- 公債費**  
町が借りたお金の返済

#### 水道事業会計

収益的	収入	8億8,014万円
	支出	6億8,727万円
資本的	収入	1億4,712万円
	支出	7億3,374万円

#### 下水道事業会計

収益的	収入	13億8,334万円
	支出	13億7,917万円
資本的	収入	2億2,177万円
	支出	6億3,767万円

#### 用語説明

- 収益的**：水道水の供給や污水处理の予算
- 資本的**：施設の新設や再整備の予算

※水道・下水道事業会計は複式簿記で会計処理を行う企業会計なので、記載の方法が異なります。



令和4年度  
予算審議

# 議論

予算決算  
常任委員会

# 白熱

予算審議は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（廣田清実委員長、昆秀一副委員長）で審議しました。

## 一般会計

### 財政・総務

**質問** コカ・コーラ本社移転に伴う税収への影響は。

**回答** 本社機能の移転で従業員数が多くないことから、大きな影響はないものと考えている。

法人町民税の予算は例年通り計上した。

**質問** 期日前投票所の会場拡大は。

**回答** 令和元年の県議会議員選挙では、矢幅駅に期日前投票所を設けた。

今回の参議院選挙では、コロナ感染状況を踏まえ、会場等の検討をして行く。

## 防災

**質問** 消防団の処遇改善において、消防演習や広報活動にも手当は該当するのか。また、団員確保の取り組みは。

**回答** 消防演習、火災予防広報も非有事事当て支給を予定。団員確保については産業技術短期大学校に要請し学生の団員を募集する予定である。



矢巾町消防特別点検 (令和3年6月)

**質問** 災害時の協定団体数および避難所の最大収容人数は。

**回答** 飲み物・食料等生活物資の協定は現在11社。過去の災害実数を考慮し360名収容を見込んでいる。

**質問** 防災ラジオの普及拡大を考慮した場合、一番聞きにくい役場と農協からのお知らせを希望の多い時間に放送できないか。

**回答** 放送の内容や順番など工夫していきたい。

## まちづくり・観光

**質問** まちづくりなどの総合開発委員の内容は。

**回答** 住民の意向に沿った内容にするため、有識者の意見を参考に、これまでの委員数60人を20人に変更した。



産業技術短期大学校の学生がデザインした南昌山展望台の手すり

**質問** 南昌山展望台の支障木伐採の範囲は。

**回答** また、完成時期はいつか。展望台東側を見晴らした時に支障になっている枝木の伐採である。

**質問** 産業技術短期大学校の学生が南昌山展望台のデザイン発表を行ったが、ぜひ設

置の実現をしてほしいが。事業費は県補助の地域経営推進費を活用し、デザインした学生の意向に沿った形で進めたい。

**質問** 観光産業活性化の予算で、花と緑を軸にした取り組みの具体的な内容は。

**回答** フラワーパーク、町民憲章、史跡等である。なお、フラワーパークの交流人口は年々増えている。

## 産業・建設

**質問** 鳥獣被害防止対策協議会負担金850万円の内訳は。

**回答** 令和3年度の被害が多かったことから電気柵の補助事業を検討。個人には上限額を設けて2分の1補助を検討。

令和4年度は不動の中山間地域の山沿いに約7kmの電気柵設置補助を実施する。

**質問** 稲作等農家応援事業はコロナ禍の支援事業であるが、収束後の対応は。

**回答** コロナ地方創生臨時交付金を活用した新規事業であり、コロナが収束しても今回計上した分は対応する。

**質問** 盛岡南道路の事業による再調査のため、圃場整備に遅れが出ている。

矢次地区、広宮沢地区の今後のスケジュールは。

**回答** 盛岡南道路の設計が明らかになる中で、矢次地区の実設計の変更が必要になってくる。

地権者に盛岡南道路の状況も含め説明しながら圃場整備事業を進める。

**質問** 町営住宅の入居倍率は3〜5倍であり、建て替えまでは数年かかる。

若い世代に何かしらの対応が必要ではないか。

**回答** 一般アパートを借り上げて町営住宅とする制度もあるため、建設と併せて検討していきたい。



圃場の大規模区画化が待たれる広宮沢地区

## 環境・福祉

**質問** ゼロごみ6Rの予算措置額が少ないが、具体的な取り組み内容は。

**回答** 予算は変わらないが、リサイクルモアなどでごみ減量の取り組みを拡大している。

今後は、官民連携のほか官福連携でも6Rの推進をする。

**質問** 生活支援コーディネーターの仕事内容は。

**回答** 困りごとを発掘しながら、地域と一緒に居場所づくりや買い物問題などの仕組みづくりを行う。

**質問** 引きこもりの方を支援するアウトリーチ事業について、町内の引きこもりの方の想定人数は。

**回答** また令和3年度の実績は。37名ほど把握しているが、令和3年度は5件訪問し支援を行った。

**質問** 自殺予防の精神保健事業では講座対象者の拡大を

### 3R + 3つのR = 6R

**R**educe  
リデュース  
ごみを減らす

**R**euse  
リユース  
くり返して使う

**R**ecycle  
リサイクル  
再生利用する

**R**efuse  
リフューズ  
断る・辞退する

**R**epair  
リペア  
修理して長く使う

**R**ecycle  
プリサイクル  
ごみにならない商品を選んで買う運動



町では3Rプラスの3つのRで、ごみ減量に取り組む(リサイクルモア 役場庁舎前)

するようだが、その内容は。

**回答** ゲートキーパー養成講座は令和3年度より1回多い7回の予算で計上しており、接客業を仕事としている人など対象者の拡大を考えている。児童のSOS出し方教室は、新規に小学校2校に増加する。

**質問** 妊産婦健診等送迎委託事業はどのような方法で行うのか。

**回答** 健診時、妊産婦に対しタクシーチケット1万円分を助成する。使いやすいように100円券単位で利用できる。

令和4年度予算審議

議論白熱

# 安心できるまちづくりを

## 教育・文化

**質問** コロナ禍で急な学級閉鎖等による給食の食数変更にはどのように対応したか。

**回答** 前日の午後5時前に情報が入ったときは、食材をキャンセルし、当日の朝に情報が入ったときは業者と交渉をし、冷蔵庫もフル活用して無駄にしない対策をとった。

**質問** 中学校部活指導員のなり手不足の要因は何か。

また、資格は必要か。  
**回答** 夕方4時からが部活時間のため、働いている人にとっては難しい時間帯である。資格は不要で、現在は教員OBなどに声を掛け対応している。

**質問** 中高生の貧困格差が学

力格差につながっていることから、給付型奨学金を拡大する考えはないか。

また、若者の定住化施策に奨学金を活用する考えは。

**回答** 令和3年度の制度利用者には5名だが、若者支援、中卒者支援などの策がある。他市町村の施策についても検証に努める。

**質問** 子どもの貧困で生理用品を買えない子どもが問題になっている。

予算計上し生理用品を学校のトイレに置いては。

**回答** 学校としては、ただ置いて使うだけではなく児童生徒が養護教諭に相談することを大切にしており、次につなげるのが優先である。



おでんせ広場の活動模様

**質問** 佐々木家曲家工事に3000万円が計上されているが内容は。

**回答** 計上した予算は茅葺屋根の葺き替えである。平成30年に屋根南側の葺き替えを行っており、令和4年度は残りを葺き替える予定である。

## 特別会計

## 介護保険

**質問** 通所型サービスC業務委託の対象者と事業目的は。

また、どのような内容で実施するのか。  
**回答** 対象者は、要支援1・2でサービスを利用していない人などで通所型Cサービス利用につなげる事業である。  
 1グループ8名で毎週1回、3カ月間のプログラムを想定し、おでんせハウスで実施している。年間4グループを見込んでいる。

## 企業会計

有収率の割合が高いほど経営効率がよいのじゃ



$$\frac{\text{蛇口から出る水 (流した水量)}}{\text{処理する全体水量}} = \text{有収率}$$

下水管に亀裂があると、雨水等が入り(不明水)、その分、処理施設での処理量も増え、経費が多くなります。

**質問** 下水道の有収率の改善策は。

**回答** テレビカメラで管渠の破損や不明水の浸入箇所を調査する。  
 5年ごとに調査範囲を見直し実施している。

**質問** 流通センター地域の不明水対策は。

**回答** マンホール蓋を密閉型に交換するのが対策となる。



# 審査報告

予算決算常任委員会 委員長 廣田 清美

## 18項目の意見を付し可決

付託された当初予算議案について、次のとおり附帯決議を付して議長に報告しました。なお、決議文は要約し記載していません。

- 各種事業の委託料・使用料の内容を検証し適正化を。
- 防災ラジオの更なる普及を。
- 自動車免許返納者を含む交通弱者への支援体制充実を。
- 標識や信号機等の設置について関係機関へ働きかけを。
- 暗く危険な郊外農村部の通学路に防犯灯設置補助・電気料補助等の配慮を。
- アウトリーチ事業は、早期発見・早期支援を。
- 生活支援コーディネーターの役割可視化と事業検証を。
- えんじょいセンターの運営については、利便性を高めながら更なる利用の促進を。
- コロナ対応は、引き続き医療・経済面で町民へ支援を。
- ゼロごみ6Rの推進と、きめ細かい指導でごみ減量を。
- 田んぼダムの取り組みは、対象地域に更にきめ細かい説明と保証制度を。
- 地区計画制度の活用で、業務用地の創設と企業誘致を。
- 雪害による町道等の補修と、要望の多い生活道路整備を。
- 災害対策として個別支援計画に乗った訓練を。
- 土橋地区の北上川堤防工事について国に早期要望を。
- ヤングケアラーの相談環境整備と、孤立化を防ぐ支援体制の構築を。
- 定住化促進のためにも奨学金制度の検討を。
- 上水道管の耐震化を計画的に進め、下水道管の有収率を高める取り組みを。

## 令和4年度 予算について

# 討論

表決に付される前に、令和4年度予算に対し、5人の議員から、反対と賛成の意見がありました。

### 反対 事業の検証が されていない

フューチャーデザインの考え方で行政が進められてきたが、事業の検証がされないことや多くの町民に理解されていない等の問題があり、特徴的なものがスーパーシティ構想であった。

小川文字

### 賛成 町民本位の 施策実行に期待

出生給付金、保育医療ケア児受入れや南昌山展望台、徳丹城史跡・佐々木家の改修など施策計画を策定している。またコロナ禍におけるワクチン3回目接種や個人・中小事業者への継続支援の取組みなど、厳しい財政の中でも町民本位の施策に工夫のある本予算6会計に賛成する。

藤原 信悦

### 賛成 子育てにやさしい まちづくりを期待

子ども医療費助成、産後家事支援、医療的ケア児支援煙山保育事業、赤ちゃん子育て応援給付金等はこれからの移住定住の大きな魅力となり期待する。

ゼロごみ6Rの推進や新型コロナウイルス感染症対策等も適切な予算措置をしていることから、7項目のレインボー大作戦に賛成する。

長谷川 和男

### 反対 格差を拡げない 財政運営を

マイナンバーカードのオンライン申請が普及しているがアナログ派も多いことを念頭におき対処すること。特に対面のサービスを縮小する人件費削減ではなく正職員で対応すること。命を守る医療費無料化・学校給食費無料化等の子育て支援に重視し格差社会を拡げないことを求める。

川村 よし子

### 反対 コロナ禍の 予算編成を

不要不急での花植えに1000万円近くを計上し、町長交際費は前年度と今年度の実績として半額ほどしか使用されていないのに全額計上している。本予算がコロナ禍を念頭においたものとなっていないことから、もっと支援が必要な方に手厚い支援を求め一般会計予算に反対する。

昆 秀一

# 順調に推移する

## ふるさと納税

1月4日に令和4年1月会議を、1月21日に令和4年1月第2回会議を開催し、町有地の売却やふるさと納税関係予算を含む補正予算議案を慎重審議し、すべて可決しました。

### 1月会議

#### 財産の処分

#### 流通センターの 町有地を売却

盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合の解散により、令和元年12月に取得した土地及び隣接する雑種地6600平方メートルを4370万円で株式会社ガヤ不動産に売却します。

建物及び構築物は、市場価値がないものと判断されたことから無償譲渡します。

**質問** 土地の売買価格は、どのような基準で計算されたのか。

**回答** 土地を購入した際の金額をベースに算出した。路線価より高い設定にしている。

**質問** 公募型プロポーザルを選定した理由は。

**回答** 一般競争入札で高く売却しても、活用されない場合町にとっても有益にならない。

早期に具体的な土地利用及び雇用の創出を含め、町にとって長期的にメリットになるような活用が必要と考え、公募型プロポーザルとした。



売却した流通センター内の町有地  
(旧盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合跡)

### 1月第2回会議

#### 補正予算

##### 主な歳入

- ▽新型コロナウイルスワクチン接種対策負担金 2540万4千円
- ▽一般寄付金(ふるさと納税) 1億5000万円

##### 主な歳出

- ▽住民税非課税世帯等への臨時特別給付金 6208万5千円
- 給付事業補助金
- ▽ふるさと納税返礼品 3460万円
- ▽ふるさと納税運営 業務委託料 1411万円
- ▽住民税非課税世帯等への臨時特別給付金 6200万円
- ▽新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 2540万円
- ▽除雪委託料 4000万円

#### ワクチン3回目は

**質問** 3回目のコロナワクチン接種体制はどうなるか。

**回答** 2月からの集団接種はモデルナ製、3月からの個別接種はファイザー製になり、受付方法も基本的には前回と同じになる。



# 副町長に岩淵氏を選任

2月17日から3月17日までの29日間で開催された3月会議では、人事案件に同意したほか、補正予算は一般会計及び3特別会計、2企業会計が計上され、審議は予算決算常任委員会に付託されました。すべての原案を可決し、一般会計の総額は約133億6666万円となりました。

## 3月会議

## 人事

### 副町長の選任ほか 2件に同意

副町長



岩淵 和弘さん  
(南矢幅1区)

任期は令和4年4月1日から4年間。

人権擁護委員

高橋 裕喜子さん  
(再任・南矢幅7区)

任期は令和4年7月1日から3年間。

固定資産評価審査委員

秋篠 孝一さん  
(再任・太田)

任期は令和4年3月25日から3年間。

## 条例

### 史跡徳丹城跡等管理条例

史跡徳丹城に新設した駐車場および多目的スペースの許可や制限、禁止など管理運営に必要な事項を定める。

消防団員の定員、任免、給与、職務等条例の一部改正  
消防団員の処遇改善を図るため、団員の報酬引き上げ等の改正を行う。

### 行政区再編審議会条例の一部改正

行政区長協議会、コミュニティ会長連絡協議会、自治公民館連絡協議会の3つの組織の見直しにより、審議会の委員が変更になる。

### メディカルフィットネス ウエルベース矢巾

#### 設置条例の廃止

交付金の事業期間が完了し公共施設の役割が終わる

## 補正予算

ため設置条例を廃止する。  
令和4年度からは民間事業者が主体となり事業を実施していく。

### 主な歳入

▽学校施設環境改善交付金 993万円

▽中学校施設整備事業債 1310万円

▽まち・ひと・しごと 創生寄付金 500万円

▽土地売却収入 9174万円

### 主な歳出

▽中学校管理事業工事請負費 2607万円

▽財政調整基金積立金 2億5797万円

▽自治体オンライン手続環境構築業務委託料 2071万円

質問 中学校の工事内容は、矢巾北中学校の設備

回答

で、乗用エレベーターを改修する予定である。  
エレベーターの更新目安は約25年であり、令和3年度の国の補正予算で対応できる事になったため改修する。

## 指定管理者の指定

岩崎川河川公園  
マレットゴルフ場  
矢巾町マレットゴルフ協会

施設の効果的、効率的な管理運営が見込まれることから令和4年4月1日から3年間指定管理者とします。

質問 マレットゴルフ場の周辺町民への説明は。

回答 岩崎川工事説明会で公園の多目的な利用を説明しており、改めて説明会の予定はない。

防災ステーションでもあるため周知するとともに、マレットゴルフ協会と連携し楽しめる施設にしていきたい。

議員 発議

ロシアによるウクライナへの侵攻に抗議する決議  
全会一致で可決

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう許されない軍事的暴挙に他ならない。一方的に現状を変更しようとする、力を背景とした軍事侵攻は、ウクライナの主権及び領土の侵略で、明らかな国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて容認できない。

よって、本町議会はロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害、核兵器の使用を示唆する発言に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から全ての軍隊を即時無条件で撤退させること、及び国際法に基づく誠意をもった対応を強く求める。以上、決議する。

みなさんからの請願 4 請願を全採択

▽矢巾町宮火葬場(斎苑)の誘致に関する請願

請願者 岩清水コミュニティ  
会長 細川 清孝  
紹介議員 吉田 喜博

審査意見

矢巾斎苑は供用開始から35年経過し耐用年数は残り10年あるが、岩手医科大学附属病院の移転により検体等での利用や町外の利用者数も多くなっており、会葬者の待合室不足や炉の劣化で交換修理が必要な状況である。

今後の火葬場のあり方について、移転も含めた検討を進めることから、本請願の趣旨は理解できる。  
なお、移転先を検討する場合は岩清水地区を移転候補地として検討を進めることの見を付けて採択する。

▽徳丹城史跡周辺の活性化に関する請願

請願者 徳丹城周辺活性化推進協議会  
代表 徳田地区商工振興会  
会長 川村 文洋  
紹介議員 廣田 清実

審査意見

徳丹城史跡周辺は国指定史跡となつて以来、保存と利活用のため関係者は移転し、当時の活気と賑わいが失われている。駐車場等も含め、史跡の整備は進んできてはいるが、地域住民が望む活性化には至っていない。

地域資源である徳丹城史跡を活用し、観光振興及び農工商連携を目的とした交流拠点の整備を実現させ周辺の地域活性化につなげる必要があることから、本請願の趣旨は理解できる。

▽令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願

請願者 岩手中央農業協同組合  
代表理事組合長 浅沼 清一  
紹介議員 水本 淳一

審査意見

国から令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しが示された。交付対象から除外される農地が出ることで、農地の維持が困難となり耕作放棄地の増加が懸念される。多年生作物に対する戦略作物助成単価の見直しについては、輸入乾燥牧草の高騰が続く中、急な運用で混乱をきたしている。

農家が意欲を持ち、将来にわたり安定した営農・農地の維持ができるよう慎重な対応を求める本請願の趣旨は理解できる。

▽安全・安心の医療・介護・福祉の実現と国民のいのちと健康を守るための請願

請願者 岩手県医療労働組合連合会  
執行委員長 中野るみ子  
紹介議員 川村よし子

審査意見

新型コロナウイルス感染症拡大は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼしている。医師、看護師、介護職員などの人員不足が問題になっており、コロナ感染時や濃厚接触者となった時の交代する職員が不足している。

国民のいのちと健康、暮らしを守り、新たなウイルスや大規模災害等に備え、医療・介護・福祉職員の増員と保健所等の公的行政組織の拡充は必要不可欠な課題であることから、本請願の趣旨は理解できる。





# ズバリ 町政を問う

## 代表質問

3交渉会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。  
(本町では、3名以上で構成される会派を交渉会派としています。)

- 町民の会 藤原信悦議員**…………… P15
  - 令和4年度施政方針について
  - 令和4年度教育行政方針について
  - 若年層のコロナウイルス感染者増加への対応について
- 一心会 山崎道夫議員**…………… P16
  - 未来への持続可能なまちづくりに向けた取り組みについて
  - コロナ禍等における保育園、学校現場等の対応について
- 矢巾明進会 長谷川和男議員**…………… P17
  - 令和4年度施政方針について
  - 令和4年度教育行政方針について
  - 財政健全化の取り組みについて
  - 環境政策の取り組みについて そのほか5項目

## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して町政全般にわたる執行状況や将来の方針など諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

- 昆 秀一議員**…………… P18
    - ①ハラスメントについて
    - ②新型コロナウイルス感染症対策
    - ③町民の声をどう聴き、どう対応・活用するのか
    - ④投票率向上の取り組みは
    - ⑤SDGsの推進を
  - 村松信一議員**…………… P19
    - ①本町の農業政策について
    - ②矢巾町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について
    - ③第2次男女共同参画プランについて
  - 赤丸秀雄議員**…………… P20
    - ①コロナオミクロン株蔓延の現状と課題について
    - ②人口減少を抑える定住化推進策について
    - ③敬老会開催のあり方について
  - 水本淳一議員**…………… P21
    - ①町内周辺地域の人口対策と活性化について
    - ②町のアピールと音楽・映像資料室設置について
    - ③交通安全対策と運転免許自主返納者に対する支援の充実について
  - 小笠原佳子議員**…………… P22
    - ①選択的夫婦別姓について
    - ②町営住宅建て替えについて
    - ③ごみの削減について
  - 藤原梅昭議員**…………… P23
    - ①「快適性と安全性を高めるまちづくり」について
    - ②「豊かな生活環境を守るまちづくり」について
  - 谷上知子議員**…………… P24
    - ①リカレント教育としての夜間中学の設置促進について
    - ②軽費老人ホームについて
    - ③SDGsのジェンダー（社会的・文化的性差）平等に対する取り組みについて
  - 小川文子議員**…………… P25
    - ①コロナ対策について
    - ②西部地区高区配水塔の廃止と矢巾温泉郷の水害対策について
    - ③メディカルフィットネスについて
    - ④スーパーシティ型国家戦略特区及びスマートタウンについて
  - 川村よし子議員**…………… P26
    - ①コロナ感染症対策について
    - ②保育・介護・医療従事者等に対する処遇改善手当について
    - ③国保税引き下げについて
- ※上記は、事前に提出された通告書の項目です。次ページからの内容は紙面の都合上、一部要約して掲載しています。詳しくは、議会事務局まで ☎ 019-611-2801



※顔写真の白い線は飛沫防止対策アクリルパネルの縁が写ったものです。



ふじわら しんえつ  
**藤原 信悦**議員  
(町民の会)

# 子育てに優しいまちづくりは 赤ちゃん子育て給付金を創設



子育てにやさしいまちづくり ぽかぽか広場(さわやかハウス)

**質問** 創設される「赤ちゃん子育て応援給付金」の内容は、  
**町長** 令和4年度に創設するもので、4月1日以降に出生したお子さん1人につき、10万円を給付する。  
コロナ禍における生活の安定と移住定住を進める。

**質問** 移住定住を図るのであれば、次年度以降も継続してはどうか。  
**町長** 長く継続し、出生時だけでなく入学時等の節目も捉え、子育てに優しいまちづくりにつなげたい。

## 小学校区再編は 令和4年度に確定

**質問** 令和3年度から町立学校通学区域審議会で学校規模適正化について検討され、令和4年度には決定するとしている。  
学区についても決定されるのか。  
**町長** 令和4年度内に決定する予定で作業を進めている。

## ゼロごみ6R 推進を

### 宣言を出し周知啓発

**質問** ごみを発生させない従来の3Rに、ごみになるものはもらわれないフューズ、修理して使うリペア、ごみになら

ない商品を買うプリサイクルが求められる。  
この活動の周知や関係企業等との環境整備が必要と思うがどうか。  
**町長** ごみ収集業者には2月に趣旨説明を実施した。  
今後はごみ減量推進委員や関係団体等に説明し、できる事から進める。

## 医療的ケア児 受け入れは

令和4年4月から

**質問** 町立保育所での当初の受け入れ人数や要員体制は。  
**教育長** 現在2名の看護師に新たに1名採用し、医療的ケア児2名の受け入れを想定。

**質問** ケア児が増えた場合の受け入れ体制は。  
**教育長** 担当課や関係機関と連携を図りながら、保護者の意向を確認し、必要なケア内容を見極め、計画的に受け入れができるよう人員配置に努める。

# リニューアルし滞在型観光を 次期総合計画に向け検討する



やまざき みちお  
**山崎 道夫**議員  
(一心会)



リニューアルが待たれる南昌の湯 (保養センター)

**質問** 本町の観光を滞在型にするために、国民保養センターを大規模リニューアルして、集客を図るべきでは。

**町長** 国民保養センターの活用は、西部地区の観光拠点として重要と考える。今後は、町内外の若年層を

呼び込むレジャー施設の要素を加えた大胆な転換が求められており、リニューアルも一つの方策であると考えている。

次期総合計画の策定に向け、公民連携の手法を取り入れた施設の運営について引き続き検討を進めていきたい。

## 水田活用交付金 見直しの対応は

撤回に向け  
要望書を提出

**質問** 政府が公表した「水田活用の直接支払い交付金」の見直しは、大変厳しい内容である。

本町農業への影響は。

**町長** 小麦、大豆、牧草、野菜など交付対象作物の面積は300畝で、年間1億円を超える転作交付金の減額が見込まれる。

また、水田への牧草作付は100畝で2500万円円の減額となり、個人で最大280万円もの影響が見込まれる。

**質問** 町としての対応策は。

**町長** 影響が多大であることから、近隣市町をはじめ、JA、土地改良区等と連携して見直し撤回の要望書を提出している。

今後、国の動向を注視し、必要な対応を行う。

## 学級閉鎖などの 対応は

オンライン等で  
授業実施

**質問** コロナ禍における小中学校の学級閉鎖や休校などにおいて、オンライン授業を行うたのか。

また、どのような準備をしてきたか。

**教育長** 煙山小学校の高学年と矢巾北中学校の2校で実施。学級閉鎖等となった場合に備えて、GIGAスクール端末の持ち帰り練習を実施しながら、課題のデータ配信やデジタルドリル教材を活用した学習もできるように準備を進めている。



※顔写真の白い線は飛沫防止対策アクリルパネルの縁が写ったものです。



は せ が わ か ず お  
**長谷川和男**議員  
(矢巾明進会)

# 財政健全化の取り組みは 優先順位をつけ事業を着実に

**質問** 本町の財政健全化の取り組み目標値は。

**町長** 令和2年度の実質公債費率15%を令和8年度は13%後半に、将来負担比率125.6%を105%前後とすることを目指している。

**質問** 財政健全化に取組みつつ、住みよいまちづくりをどのように進めていくか。

**町長** 現在、財政健全化に向けて、経常的経費を中心に予算の抑制や削減を行っている。今後、新規借入額が償還額を上回らないよう、大規模な投資的事業の実施計画を見直すとともに、緊急性や費用対効果を精査し優先順位を付けた上で着実に実施していく。



見通しの悪い急カーブ (町道大沼線)

## 矢巾型モデル タウンの考えは

### 脱炭素化に向け 施策を検討

**質問** 新市街地のまちづくりとして、省エネ太陽光パネルを設置する矢巾型モデルタウン

**町長** 今の考えはないか。今後再生可能エネルギーの導入等について、情報の収集と分析を行い、将来の脱炭素化に向けた施策の展開を検討していく。

**質問** 町道大沼線の大沼橋から南へ約70㍎のカーブは、

見通しが悪く危険であり、早期に整備すべきではないか。

**町長** 通学交通安全プログラムと合わせながら、早急に検討し整備を進めていく。

**質問** 市街化区域の見直しにより新たな住宅地の開発が行われるが、現段階での計画は。

**町長** 藤沢第一・田中・下花立の3地区で住宅区画数は約500戸を予定。行政区再編成については、住民の要望をくみ取り、適切な編成に努める。

## 政策推進監 設置の考えは

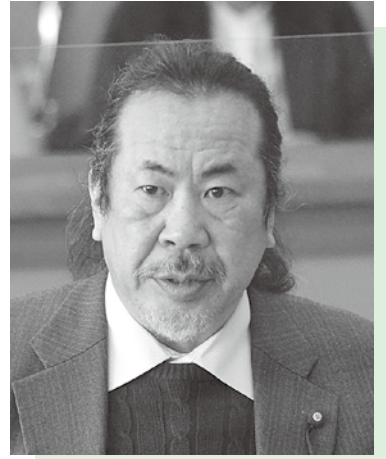
令和4年度  
創設の予定

**質問** 複雑化する社会問題に対応するため、組織体制の強化をする必要があると思われるが、政策推進監を設置する考えはないか。

**町長** 令和4年度から政策推進監を創設し、組織体制のさらなる強化を図る。



# 庁内のハラスメントは 実態を調査し報告する



こん しゅういち  
**昆 秀一** 議員  
(一心会)

**質問** 国際労働機関は2019年、パワーハラスメント（以下、パワハラ）を禁止する条約と勧告を採択した。日本でもパワハラ防止法が施行となり、パワハラ防止が強化されてきた。パワハラの認識をどう持っているのか。

**町長** パワハラを含め、すべてのハラスメントを人権問題と捉えており、いかなる場合においても許されないものとして認識している。

**質問** 職員のハラスメントをどのように認識しているのか。

**町長** 相談窓口を総務課で担当しており、ハラスメントの相談があった際、当事者からの

**質問** 体調を崩したり退職した者がいると聞いている。受けた側がハラスメントと感じるとハラスメントになるが、現状をどう考えるか。

**町長** 今後、全職員等を対象に調査し、報告を約束する。

**SDGs推進の考え方は**  
世界と足並みをそろえ推進

**質問** SDGsでは、「誰一人取り残さない」という基本理念のもとに、世界中でその取り組みを推進していく必要がある。テーマが壮大で、理想を掲げただけで終わってしまうおそれがある。本町の認識と、その推進の考え方は。

**町長** 掲げられている一つのテーマは目新しいもの

一般質問  
町政を問う



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 17の取り組み目標

聞き取りや、場合によっては相手方からの聞き取りなど行い対応をしている。

**質問** うわべだけのSDGsをSDGsウォッシュという。

ではなく、SDGsが提唱される以前から世界中の各地で長く継続されてきた。世界で足並みをそろえ、地に足を付けた取り組みを推進していく。

そうならないような推進をすべきではないか。

**町長** SDGsの推進に際しては、個々に問題意識を持ち、自分事として取り組むことが肝要と考える。それぞれの立場で主体的に行動していただけるよう広く呼び掛けていく。

# もみ殻発電の取り組みは 情報を得ながら調査



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一**議員  
(矢巾明進会)



もみ殻ガス化発電システム(実証試験中)  
写真提供: ヤンマーエネルギーシステム(株)

他市町村の状況を把握し、生産者が取り組める状態での導入を考える。

## チームオレンジの活動は 全国表彰を受賞

**質問** 第8期介護保険事業で特筆すべき活動は。

**町長** 認知症高齢者や家族の相談に取り組んでいるチームオレンジ矢巾の活動事例が、全国表彰を受賞した。

**質問** 一人暮らし高齢者の見守りタグ利用の状況は。

**町長** 緊急を要する見守り事例の発生はない。  
令和4年度は、一人暮らし高齢者全員を対象とする。

**質問** 認知症相談が増加しているとのことだが地域で見守る人材の育成は。

**町長** 認知症サポーター養成講座を企業や店舗にも受講いただき、買い物等での見守りを実施している。

料削減により、脱炭素社会に貢献し、入手も容易である。  
燠炭<sup>くんたん</sup>は、土壌改良材や融雪材として使用でき、環境にやさしい循環社会の形成につながる。  
農業関係団体等から情報を得ながら調査をする。

**質問** 冬場の野菜栽培に、もみ殻使用のボイラーを普及するための調査を実施してはどうか。

**町長** もみ殻は焼却しても大気中の二酸化炭素を増加させないカーボンニュートラルな資源であることから、普及拡大に向け調査を実施する。

**質問** 家畜飼料であるトウモロコシは世界的な需要により高騰している。  
稲作圃場に適した子実トウモロコシの栽培普及を図ってはどうか。

**町長** 作業負担が少なく、成長が早いことや、雑草処理が少ないことから水稲の転作に適しており、排水完備圃場では収量も多い。

**質問** 稲作で大量に発生するもみ殻を燃料として、ガス化による発電システムの実証実験が行われている。  
本町でも調査を実施してはどうか。

**町長** もみ殻は火力も強くバイオマス発電として、化石燃

# 敬老会開催の今後は 自治会ごとの開催に変更



あかまる ひでお  
**赤丸 秀雄**議員  
(一心会)



高齢者の活動模様 (エンジョイ新田)

**質問** 令和4年からの敬老会開催を自治会ごとに行う方針と説明されたが目的は何か。

**町長** 身近な自治会単位の開催により、地域ぐるみでの敬老意識が高まり、参加者が増える想定できる。

**質問** 実施時期や経費はどうか。

なるか。また、足・腰など不自由な方の対応も必要では。

**町長** 自治会行事の中で実施するなど工夫を凝らし、開催時期は問わない。開催地区に1万円と参加者一人につき1100円を助成する。

4年度からの事業であり、関係者の意見を聞き実施していく。

## 定住化の

## 推進策は

出生応援給付金  
創設を

**質問** 住宅取得利子補給制度が見直しとなった。

**町長** 今後の定住化推進策は何か。4年度から「赤ちゃん子育て応援給付金」事業を創設し、子育て世帯を応援する。

**質問** 財源創出や事業継続をどう考えるか。

**町長** ゴミ減量を進め焼却料負担軽減を図り、財源を捻出する。

事業の長期継続に努める。

## 給食費の

## 無償化は

財政が厳しく難しい

**質問** 児童・生徒の給食費無償化の考えは。

また精算月の3月だけでも無償化の対応ができないか。

**教育長** 年間1億円以上の経費負担が必要であり、財政上難しい。

児童・生徒の支援のあり方と合わせ検討するが厳しい。

## コロナ感染

## 学校の対応は

7施設で休業措置

**質問** 保育施設、小中学校のコロナ感染による休業状況は。その際、児童館・子ども預かりとの連携は図られたか。

**教育長** 保育施設は2園、小中学校で学級閉鎖を含め5校が休業措置を行った。

休業が1〜5日であったため、児童館等の対応はしなかった。今後状況等を踏まえ対応する。





みずもと じゅんいち  
**水本 淳一** 議員  
(町民の会)

# 音楽・映像を公開しては 記録を整理し全国に発信

**質問** 魅力ある矢巾町をアピールするための施策は。

**町長** 町ホームページやSNSによる情報発信、やはラジなどで魅力の発信に努める。

**質問** 町内の録音・録画映像などを収集整理し、普段自由に閲覧できる「音楽・映像資料室」を設置してはどうか。

**町長** 著作権の課題もあり慎重に検討していく。

**質問** 町の出前講座に郷土の歴史・文化の講座を設け、記録映像などで当時を懐かしんでいただいてはどうか。

**町長** 記録映像等の内容を整理し、様々な町の情報などを町内および全国に発信できるように対応したい。



利活用が望まれるゆうゆう広場（ふどうこども園北側）

**質問** ゆうゆう広場及びその周辺土地の活用は。

**町長** コロナ禍の影響で話し合いはまだ進んでいないが、地区計画制度を活用し、地域の要望を踏まえ進めていく。

## 免許返納支援と 安全対策は

サービスの充実と  
高齢者の視点で

**質問** 運転免許自主返納者への支援策は。

**町長** デマンドタクシーの料金割引のほか、移動販売、お使いサービス、ホームセンターでの配達無料券の進呈等を実施している。

**質問** 高齢者の事故防止のために、道路調査や標識等を見直し、ドットラインやイメージランプを増設してはどうか。

**町長** 地域の要望を踏まえつつ、高齢者運転の視点で町内の道路状況や危険個所の把握に努め、交通事故防止に努める。

## 周辺地域の 人口対策は

地域コミュニティの  
充実を

**質問** 町周辺地域の人口対策をどう進めて行くのか。

**町長** 地域コミュニティの充実を図るとともに、幼少期から町の魅力に触れ、愛着を感じられるよう、社会教育の環境をつくり、住み続けたいまち、戻って来たいまちづくりに努める。

# 選択的夫婦別姓制度は

## 国会で議論すべきもの



おがさわら よしこ  
**小笠原 佳子**議員  
(公明党)



建て替え予定の町営高田住宅

**質問** 選択的夫婦別姓制度の導入は、時代の要請であり、男女共同参画社会をつくるために重要である。  
女性の社会進出が進み、結婚後も自分の戸籍姓でのキャリア継続を望み結婚を諦めることもある。  
選択的夫婦別姓制度に対する

る国民の意識は変わってきているが、町の考えは。  
**町長** 選択的夫婦別姓の導入は、法改正が伴うことから、国会で議論すべきものと認識している。

**質問** 法改正後の旧姓併記申請者の年代と件数は。

**町長** 令和元年11月から旧姓併記が可能となり、申請者の年代は多岐にわたっている。申請件数は、令和元年度4件、2年度4件、3年度3件合計11件である。

### 町営住宅の

#### 建て替えは

#### 令和7年完成予定

**質問** 矢巾・高田町営住宅集約化建て替えについて、建設場所や事業計画は。

また若い世代の同居や高層階集合住宅の考えは。

**町長** 市街化区域における建て替えを検討しており、場所については未定である。

PFIの手法により、令和

5年度に契約、6年度に設計、7年度に着工及び完成する計画である。  
高層階集合住宅は考えていないが、子育て世代の同居については検討したい。

### 紙おむつの

#### リサイクルは

#### 実証実験中である

**質問** 海洋汚染等で環境問題となっているゴミ削減と、リサイクルを目的とする「プラスチック資源循環促進法」が令和4年4月に施行される。町でのゴミに係る支出と傾向は。

また紙おむつリサイクルの実証実験を行う考えは。

**町長** 令和2年度の支出額は3億9920万円余である。傾向として全体量は減少しているが、燃料のコークスの価格が上昇しており、負担金の増加が見込まれる。

紙おむつのリサイクルについては、資源化を図る実証実験を行っている。





ふじわら うめあき  
**藤原 梅昭**議員  
(一心会)

# 震災から11年、今後の支援は 被災地に寄り添う人的支援を

**質問** 東日本大震災から11年になるが、被災者及び被災地への今後の支援は。

**町長** 新たな被災地への支援を含め、被災地に寄り添った人的支援を行う。

**質問** 土橋地区の北上川堤防の一部が未整備である。今後の整備計画は。

**町長** 毎年、国に要望しているが、次期整備計画に盛り込まれるよう、さらに強く働きかける。

**質問** 令和3年までの3年間で90名の防災士が誕生したが、活用の考えは。

**町長** 地域における実効的な防災コミュニティを形成する主軸として、活動していただく。



消防団に期待される産業技術短期大学生

最新の知識や情報を共有するため、必要な育成講座を開催し、フォローアップを図る。

**質問** 減少傾向の消防団員増員のため、学生消防団員を新規確保する方針だが、どのような期待を持っているか。

**町長** 令和4年度から18歳以上の産業技術短大の学生を対象に検討している。

学生消防団員の活動は、消防団への新たな息吹として組織の活性化、次世代の担い手育成、学生消防団員の人間形成に結び付くものと考えている。

## 気候非常事態

### 宣言後の取組は

目標を数値化し

町民へ示す

**質問** 「矢巾町気候非常事態宣言」後の取組みは。

**町長** 温暖化対策の周知、小学校での環境教育、リサイクルモアなど、できることから温暖化対策を進めてきた。今後は目標を数値化し、町民に示して進めたい。

**質問** 自然エネルギーの推進状況は。

**町長** バイオマス発電関連などの企業誘致のほか、令和3年までに530件の認定があった太陽光発電の推進を行っている。

**質問** 子ども議会に代わり実施した矢巾中学校での「新春・町長と語る会」の成果は。

**教育長** 「二人ひとりが自分で出来るところから」のSDGsで取り組む大切さを改めて学び、感じた対談であった。



# 軽費老人ホームの開設は 特別養護老人ホームを開設



やがみ ともこ  
**谷上 知子**議員  
(令和やはば)

**質問** 町内の特別養護老人ホームへの入居希望待機者数と待機期間は。

**町長** 待機者数は50名で、待機期間は2年ほどである。

第8期介護保険事業計画の中に、新たに一か所の特別養護老人ホームが開設される予定であり、現在の待機者はある程度の解消が見込まれる。

**質問** 町内軽費老人ホームの利用料金と新規開設の予定は。

**町長** 町内の軽費老人ホームの利用料金は、年金収入に応じた料金設定となっており、年収150万円以下の場合には、月額8万2490円となっている。

新規開設の相談は、現在のところはない。



町内唯一の軽費老人ホーム（ソフィアハウス睦喜 太田地区）

## 夜間中学の 創設を

### 県の開設を期待

**質問** 不登校で十分な学校生活を送れなかった若者の学び直しの場、およびリカレント教育の場、およびリカレント教育は国も取り組んでおり、ますます重要になると認識している。

ト教育の場の考えは。

**教育長** 学校教育からいったん離れた後もそれぞれのタイミングで学び直しの力を磨き続けていくリカレント教育は国も取り組んでおり、ますます重要になると認識している。

**質問** 高齢者や外国人も受け入れる、一人で過ごしがちな若者の孤独を解消する居場所としての夜間中学校の創設・促進についての考えは。

**教育長** 義務教育を修了しないうま学齢期を経過した方、病気や不登校など様々な事情により十分な義務教育を受けられなかった外国籍の方等の教育を受けられる夜間中学が徐々に設置され始めている。必要性は十分に感じており、県に取り組みを依頼する。

## ジェンダー

### 平等の実現は

平等を基本に  
施策を推進

**質問** 男女ともに尊重しい個性と能力を発揮するためのジェンダー平等の実現についての考えは。

**町長** ジェンダー平等は基本的人権だけではなく、平和かつ豊かで持続可能な社会に必要なSDGsの考え方の推進も図る。



おがわ ふみこ  
**小川 文子**議員  
(日本共産党)

# スーパーシティ構想は 再応募を見送る



西部高台居住地に水を供給している高区配水塔  
(南昌保養センター奥)

**質問** 町民への説明はいつ頃、どのような方法で行うのか。

**町長** 国家戦略特区基本方針の規定に基づき、区域指定の応募にあたって行うものである。改めて町民説明を行う予定はない。

## 高区配水塔の 廃止は慎重に

県の基礎調査を  
踏まえる

**質問** 西部地区高区配水塔は耐用年数が残り6年あるが、浸水区域に位置していることから区域外への新たな建設計画が示された。

建設・解体には総額約10億円かかり国からの補助金は無く町の負担が大きい。

上の方に県の治山ダムが3基あるが、現況について県と協議しているのか。

**町長** 4年度県が行う土砂災害基礎調査の見直し結果で、土砂災害警戒区域が変更になる可能性もある。県と連携して情報収集に努める。

## ワクチン

### 3回目接種は 順調に進行

**質問** 施設職員や高齢者に対するコロナワクチン3回目接種と国からの供給状況は。

**町長** 施設職員と入所者は2月末に終了し、高齢者も3月末には終える予定。接種可能な量を確保済み。

## メデイカル

### フィットネスは 町営から 民間へ移行

**質問** メデイカルフィットネスは民間へ移行し、運動器具が無償譲渡されるが、町民の貴重な財産でもある。

一部を体育館で利用しては。

**町長** 本事業の目的である医療と連携した健康増進の趣旨に鑑み、一括して事業継承することが円滑な事業運営につながることから、他の施設などへの移行は考えていない。

**質問** 昨年、スーパーシティ、国家戦略特区に応募したが、再応募を見送った。その経過を伺う。

**町長** 複数分野の規制改革について、参画予定の企業や関係団体と協議してきたが合意に至らず再応募を見送った。



# 「休校休業等対応助成」は 町ホームページで周知



かわむら  
**川村 よし子**議員  
(日本共産党)



コロナ休園中の親子 (やはば一く)

## 一般質問 町政を問う

**質問** 保育所・学校のコロナ感染対策と状況は。

**町長** 保健所の指導を仰ぎ対応している。  
10代以下の感染者は増加傾向で42%となっている。

**質問** 保護者に対する休校等対応助成金制度の照会や手

続き状況は。

**町長** この制度は休校休園に伴い、子どもの世話を行う有給の制度で、企業側が手続きするものである。  
個人事業者やフリーランスも含め、町ホームページで周知している。

**質問** コロナ禍での生活相談窓口の体制は。

**町長** 福祉課の生活相談窓口で、税金や公共料金などを関係機関と連携・対応している。  
ひとり親の生活相談は個別に応じ支援に努めている。

## 保育士の 処遇改善は

### 計画書と 実施報告で確認

**質問** 保育士等の処遇改善手当として給料の3%、月額9000円が決定されたが、町内民間保育所等における実

施状況の把握は。  
**教育長** 提出された賃金改善計画書と賃金改善実施報告書

で確認する。

**質問** 町立保育園や、医療・介護施設職員の処遇改善手当の状況は。

**町長** 町立保育園は公務員給料で対応するため、対象から外す。  
認可外保育所や障がい者等の福祉施設は、県が対応する。

**質問** ケア職員の人材育成・確保策の具体的な取り組みは。

**町長** 認知症サポーター養成講座など様々な機会をとらえ、介護の仕事の魅力を発信し、ICT化やロボット導入による介護業務負担軽減につながる取り組みについて実態に即した施策を推進する。

**質問** 保育士等のケア職員が不足している。

給付型奨学金制度を利用し人材確保につなげることはできないか。

**教育長** 奨学金制度は福祉関係に限定した制度ではない。一つの方法ではあるが、複数の施策で検討すべきと考える。





## 礼儀正しさに感動



みうら しげみ  
**三浦 繁美さん** (南矢幅1区)  
(写真撮影のためマスクを外していただきました)

私は11年前、東日本大震災の年、矢巾町の知人を頼り沿岸から引越して来ました。知人にはお世話になり感謝しております。

矢巾町の変わりつつある医療、福祉、教育、文化、経済等々発展する姿を見てきました。「やはば議会だより」は読んでおりました。声が掛かり議会を初めて傍聴させてもらいました。  
質問に対する町長はじめ各担当職員の皆さんの礼儀正し

さと本気でやる姿勢に心打たれ感動しました。

町民のために良い汗を流し何時も笑顔で豊かに住める知恵を出し合う政策を願います。そして国際社会の厄介者のコロナ感染が少しでも早く消え、無くなるよう祈る毎日です。

議会関係者に心からエールを送ります。そして矢巾温泉南昌の湯が第二の心の故郷となってきました。

## 追跡

### あの質問はどうなった

過去の質問について現在の状況をお知らせします。

**質問** (平成30年9月会議)

国道4号盛岡南道路に町の意見を

今春(平成30年)、盛岡南道路の延伸について、国の調査が決定したが、ルート設定に向け検討委員会を設置し早急に取り組むべきであると考えるが。

**回答**

今後も要望を継続

平成28年度から盛岡市と合同で要望活動を行っているが、役場内に専門組織を立ち上げ、今後も事業化へ向けた調査推進について活動を続ける。

現在は

## 国土交通省が 新規事業化を発表

「盛岡南道路」の新規事業化が令和4年3月25日国土交通省から発表され、調査・設計を行うため、国の新年度予算に5000万円が計上されました。



盛岡市永井の起点となる交差点  
(宇佐美盛岡南インター店付近)



サークル発表会で歌う筆者



## ボランティアで訪問活動

かぶら ゆきこ  
**鏑 由喜子**さん(高田1区)

### シャンソンでみんなを元気に

今から57年前、私は夫の赴任地である中南米のニカラグアへ、一人で旅立ちました。

夫は日本大使館に通訳として勤務し、その後パナマ国の商社に移り、長女を身ごもった時に帰国。夫の実家がある盛岡で稼業を継ぐことになりました。東京生まれの私にとって岩手は人柄が温かく、1年を通してとても暮らしやすく肌合っていました。

夫がボランティアで不来方高校のスペイン語講師をしていたこともあり、矢巾町には縁がありました。夫が亡くなった後、店の仕事をしながらシャンソンを習い、その歌に支えられ今があります。平成11年に長男夫婦と矢巾町に移住し、孫が矢巾北中学校特設合唱部及び不来方高校音楽部で活動していました。夫も天国で喜んで見守っていることでしょう。

東日本大震災の時、何か自分にできることはないかと考え、歌に慰められたのを思い出し、被災した子どもたちの学費が不足していると聞いて、私も夫のようにボランティアをしようとしてシャンソンのチャリティライブを5年間続けました。

被災した子どもたちや日赤乳児院、スペシャルオリンピックスという世界的な障がいを持つ子どもを支援する会の3カ所へ寄付ができました。77歳の昨年、キャラホールの大ホールでシャンソンを歌う機会をいただき、観客の皆さまから「元気が出た」「気分が明るくなった」など多くの意見をいただき、心からやって良かったと感謝している日々です。

声が出る限り、少しでも人の心を癒していくことができたらと願っています。また、一日も早く平常の生活に戻ることを祈っています。

### ○表紙に寄せて○

3月12日、矢巾中学校と矢巾北中学校の卒業式が行われました。ご卒業おめでとうございます。

中学校生活の思い出を大切に、皆さんの今後の更なる輝かしい活躍を期待しております。



### あ と が き

どんな表紙だと手に取っていただけか、どうしたら幅広い年代の方々に読んでいただけるかと、試行錯誤しながら編集しています。これからも多くの皆さまに愛される「議会だより」をお届けできるよう頑張ります。まいります。

編集委員 高橋 安子

### 発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

### 編集委員

委員長 水本 淳一  
副委員長 川村よし子  
委員 谷上 知子  
高橋 安子  
赤丸 秀雄



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

過去のやばば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます

